

校 園 名 : **香川大学教育学部附属高松小学校**

所 在 地 〒760-0017 香川県高松市番町5丁目1番55号
TEL(087)861-7108

記 載 日 : 平成28年5月18日 記 載 者 : 副 校 長 米 村 博 司

本校の特色

文部科学省研究開発学校（H25年度～H28年度）
～見方・考え方を育む指導と評価の在り方の追究～



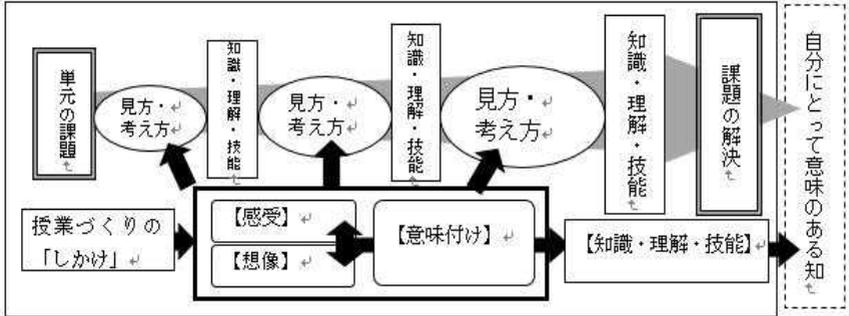
『2領域カリキュラム』教科学習＋創造活動

* 卒業生や教員の活躍状況の追跡調査は未実施

教科学習

外国語科を含む10教科

○教科の本質に迫り、自分にとって意味ある知の創造



○主体的、共感・協同的、創造的な子どもの姿を実現する

【授業づくりの3つのしかけ】

「志向」のしかけ

「共感・協同」のしかけ

「有用」のしかけ

【姿を表出させる状況づくり】

児童が「感受」する姿

「想像」する姿

「意味付け」する姿



【評価の観点】

- ① 主体的な態度
- ② 共感的・協同的な態度
- ③ 知を創造していく過程での見方・考え方
- ④ 知識・理解・技能

各教科の本質を問う

- * 何ができるようになるか
- * 何を学ぶのか
- * どのように学ぶのか
- * どのような集団で学ぶのか

創造活動

道徳・特別活動・総合的な学習の時間を統合

○縦割り創造活動（1年から6年までの異学年活動）

与えられた価値を学んで行くのではなく、子どもたちの切実な課題設定に基づき、異学年集団の関わりの中で様々な価値を創造していく活動。

「ひと・もの・こと」と関わりながら価値を見出し、多様な見方・考え方を獲得していく。



【異学年縦割り活動】

○学級創造活動（同学年集団での個人追究活動）

同学年による集団で日常的な課題を話し合っ解決したり、個々の思いや願いに基づいた個人追究を行ったりする活動。

4年生以上は、隔週に1回「附小隊活動」としてチームを編成し、自主的に学校をよくするための活動を行う。



【個人追究活動】

○校時表・週行事表

「縦割り創造活動」は、火～金曜日に45分間の時間を確保し、児童の意識が連続できるようにした。また、毎月1回は、ダイナミックな体験活動ができるように、3時間連続の創造活動の時間を設定している。

「学級創造活動」は、毎日、2校時と3校時の間に25分間を確保している。3年生以上は、月曜日の2校時にも時間を確保している。

普通校時	月	火	水	木	金
8:15	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
	全校朝会 (隔週)	朝の活動	朝の活動	朝の活動	朝の活動
1					
	学級 創造活動				
2	学級 創造活動	学級 創造活動	学級創造活動 個人追究活動 (隔週)	学級 創造活動	学級 創造活動
	3				
4		縦割 創造活動	縦割 創造活動	縦割 創造活動	縦割 創造活動
	5				
6					

【週行事表】

地域への貢献

県内外の教育モデル校として

【教育委員会や公立学校への貢献】

- ・ 毎年、参会者人数延べ2000名を超える研究発表会の開催
- ・ 長期研修員教養研修や指導改善研修等への協力
- ・ 教職1年・5年研修会に指導者を派遣
- ・ 文部科学省指導主事会での実践資料の提供
- ・ 他県からの研修生の受け入れや公立校教員への授業公開

【教育研究諸団体への貢献】

- ・ 香川県小学校教育研究会等の事務局運営への協力
- ・ 県内外で開催される教科研究会等での指導・助言・講演
- ・ 教育諸団体からの要請による各種委員として協力 他

大学との連携

教員養成大学附属学校として

- ・ 校内研究や研究会に向けての大学教員との共同研究
- ・ 教科教育法等での合同授業実践
- ・ 国内外の教育視察団の受け入れや大学生との交流会
- ・ 昼休みの時間等に児童との交流を図る特活概論への協力
- ・ 夕ぐらびー、陸上練習、校外学習等での大学生の参加



【教員、大学生、児童他、約200名が高松祭りに参加】